

僕と私の ドビュッシー



一章 図書室にて

この脚立が
使えるかもね

ちよつとこれに登って
通気口を調べてみるよ

うわ…登ってみると
結構高いよ
ちよつと…怖いかも

代わろうか？

ううん…
大丈夫だけど…



…って
何を考えてるんだ
僕は…っ！



それにしても
赤松さんって
カワイイよな…
胸も大きいし…



ん…!?
あれって
もしかして…



赤松さんの
パンツ…!!



あつ…ごめん!

!?



ところで…最原くん
パンツとか
見えてないよね?



ぎゃっ!!

ごめんって!
もう…っ!

グ
ラッ



ごめんね
ドジ
踏んじゃって...

いたた...
大丈夫?
最原くん

えっ!?

あの
最原くんが...
...えっ!?!?

えっ!?

もっさり

...ちよつと...
もお...っ!
最原くん...!!

い...いや...!!
これは...
その...っ!





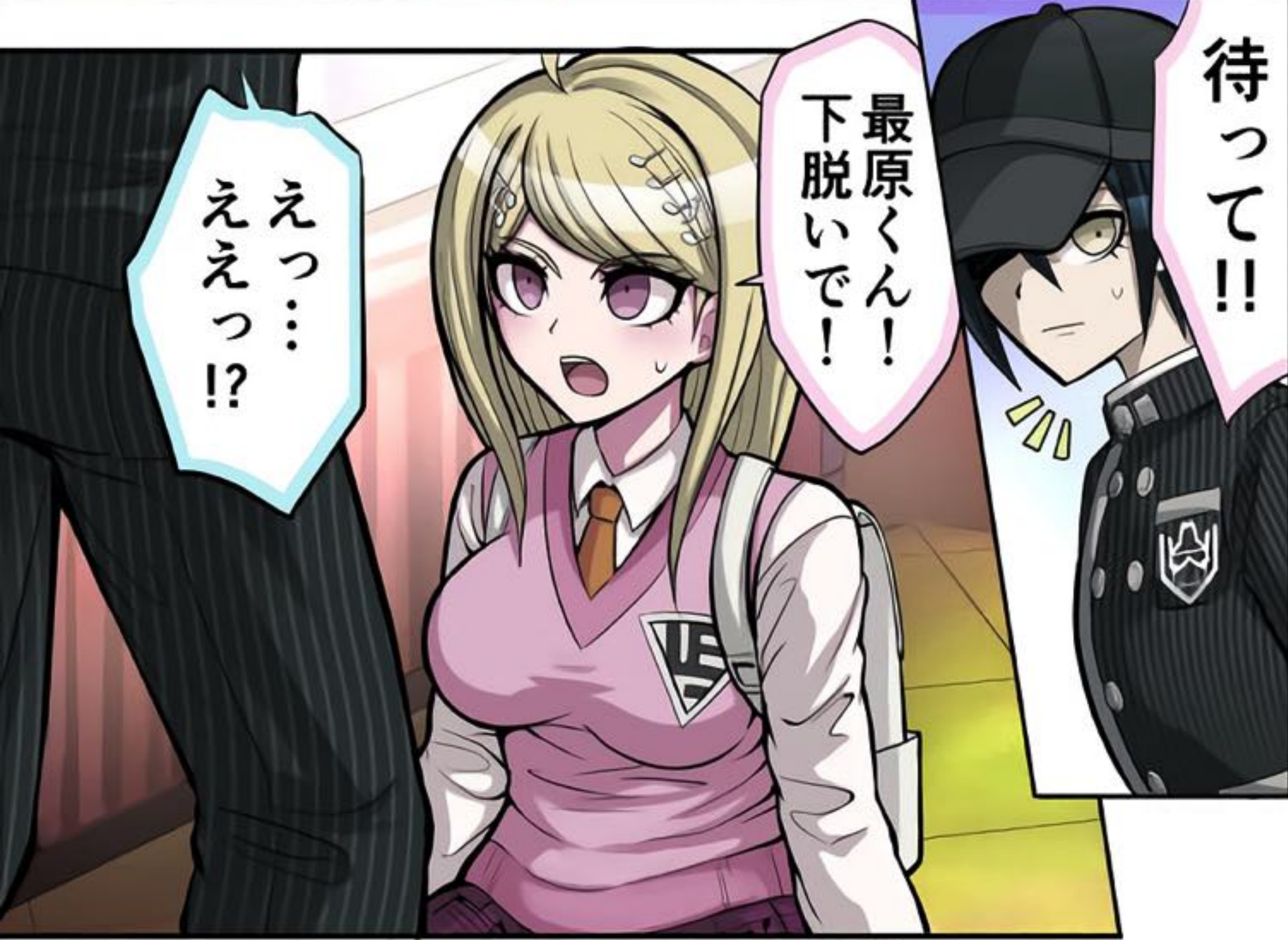
ここまで
大きくなったら
一回出して
こないとな...

ちよつと
待ってて

...



でも...こんな時に...
ほんと最低だよな



待って!!

最原くん!
下脱いで!

えっ...
ええっ!?



当事者として責任を
感じちゃうんだよね



私も手伝うよ...
最原くんの...

それはダメだよ
さすがに...

赤松さんにそんな事
させるワケには
いかないよ!!

い...いやいや!
ちよつと待って!!

いいんだよ...

私にも非がある
ワケだしさ...



それに忘れたの？
私は超高校級の
ピアノストなんだよ？

指先の
テクニクには
自信が
あるんだから！

僕はピアノじゃ
ないんだけどなあ…



ダ…ダメ…
かな…？



もちろん
最原くんが
いいなら…
なんだけど…



ガキ

イヤ
だったら…
途中で止めて
いいからね…



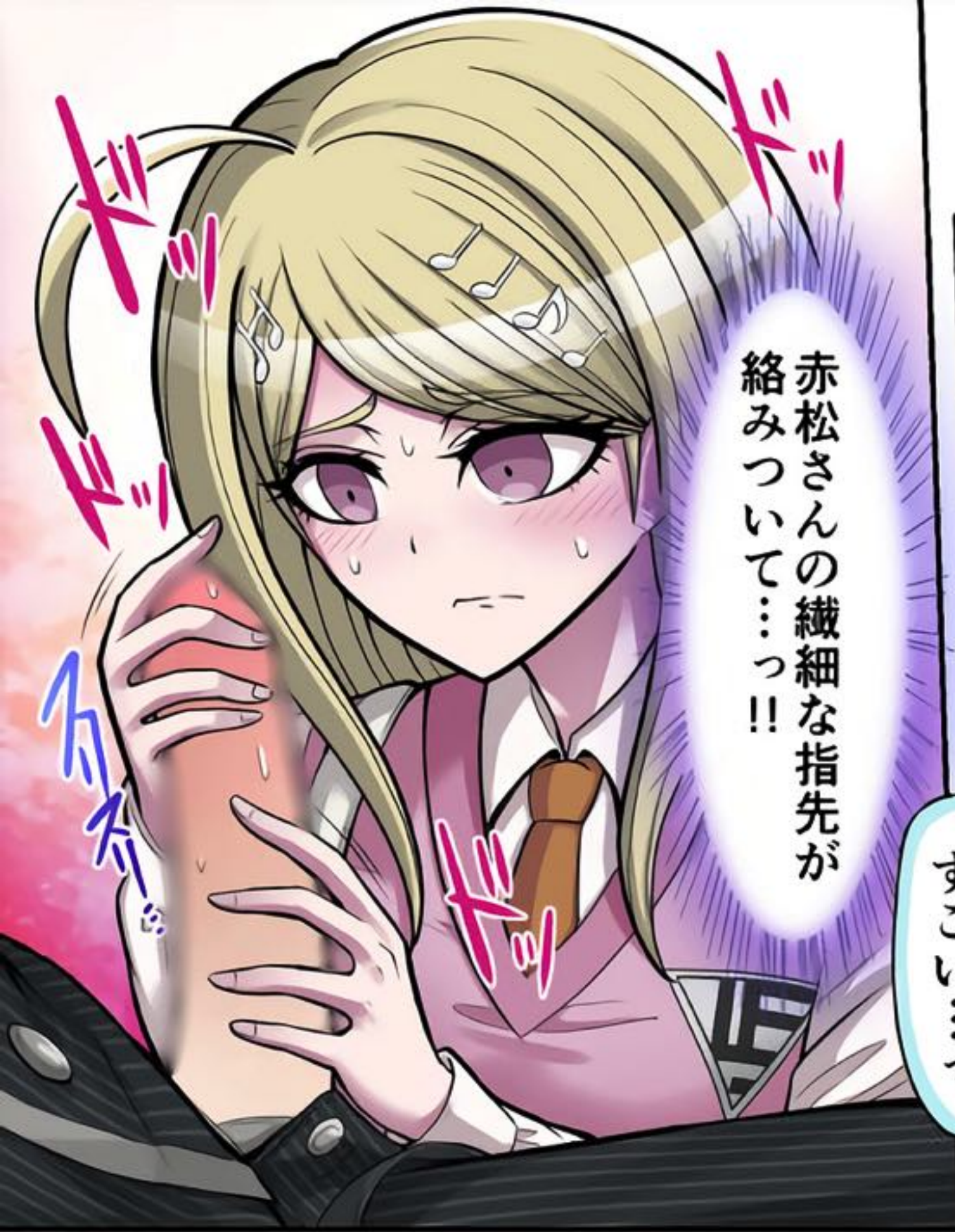
ううん、平気…



きやつ!!?

む…無理しなくて
いいよ…

ズロツ



赤松さんの繊細な指先が絡みついて…っ!!



えっ…!!

う…っ
すごい…っ



こ…
こうかな…?



くう…っ!!

最原くん
カワイイね…
女の子みたい…

ふふ…

くわん
くちゅ

んく…っ!

あっ…
んんっ…!!



快感の波に合わせて…
リズムを刻むように…っ

う…うああ…っ!!



じゃあ
もしかしたら…

こっちの方が…

もっと
気持ちいい
…かな？

なっ…!!?

プル



赤松さん!! いいよ!!
そこまでしなくて!!

男の子って…
こうゆう風にされるのが
気持ちいいんでしょ?

あ…っ!

もっと聴きたく
なっちゃって…

だって…
最原くんの
カワイイ声…

ギョ

ハッ



ドクドク...

ごっ！ごめん！！
赤松さん！！

いいよ
気にしないで

おっ...

私が好きで
した事だから...

...

どうして...
僕なんかここまで
してくれたの？

...最原くんなら
いいかなって...

えっ...？

...なんだろう

ズ...

コロシアイなんか
させられてる
こんな状況なのにさ

私
最原くんのコト
信じてるんだよね



これからも…
ドビュッシーとか
ショパンとか

いろんな曲を
君に聴かせて
あげたい…

そう思える
最原くんなら
いいかなって…

赤松さん…



たぶん私いま…

最原くんと
同じコト
考えてると
思う…



ねえ…
してくれる？

いま私が最原くんに
してほしいと
思っていること…



い...
入れるね...



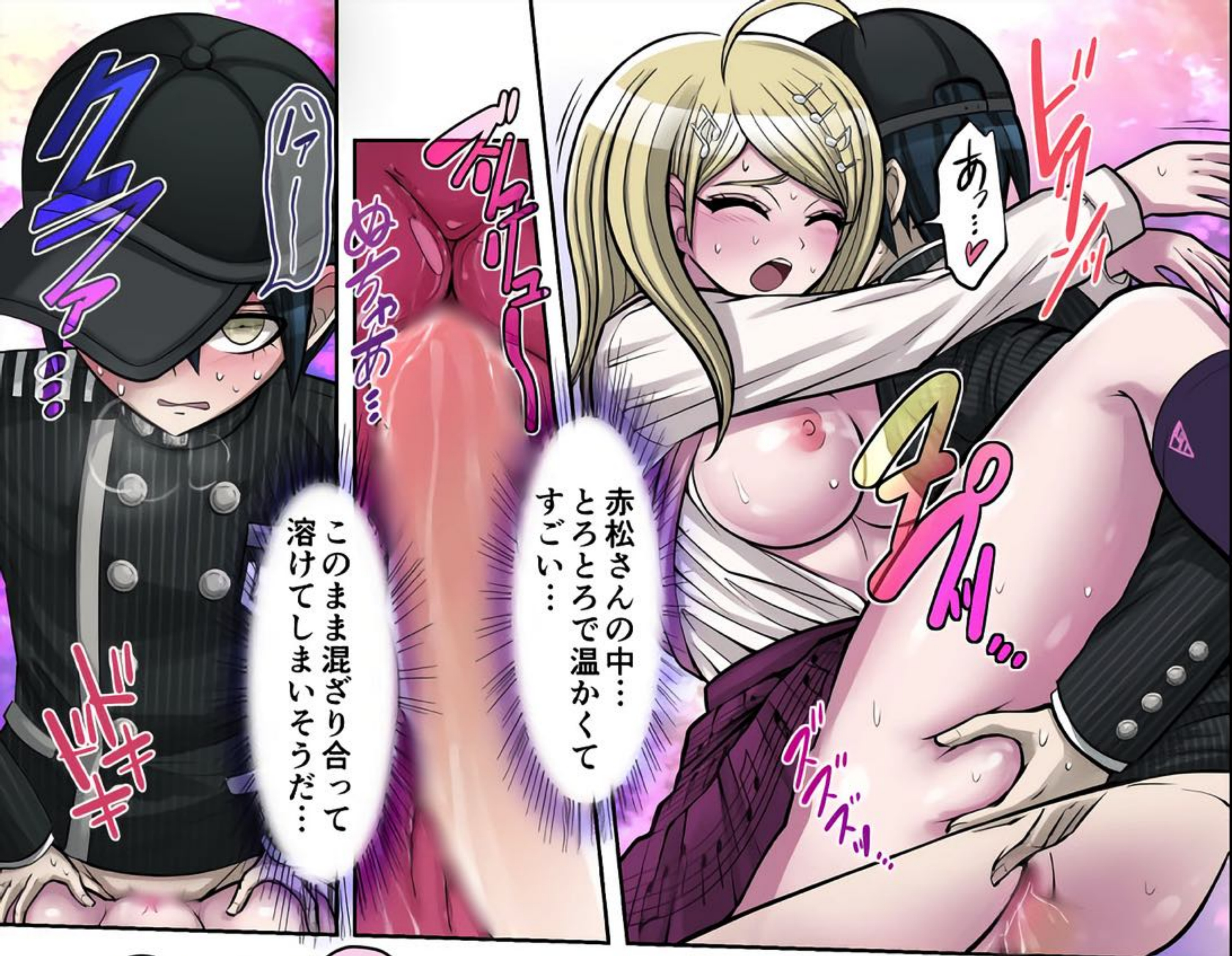
うん...



んっ...

好き...

たっ...



このまま混ざり合って
溶けてしまいたいそうだ...

赤松さんの中...
とろとろで温かくて
すごい...

めっちゃあ...

ア...

グググ...



大丈夫?
気持ちいい?

うん...
最原くんが私の奥まで
入ってるの感じるよ...

二人で奏でよう?
私たちだけの旋律...

うん...
一緒に気持ちよく
なろうね...

ア...

ア...

ドキドキ...

ドキドキ...



あっ...!

赤松さんのおっぱい...

あーっ

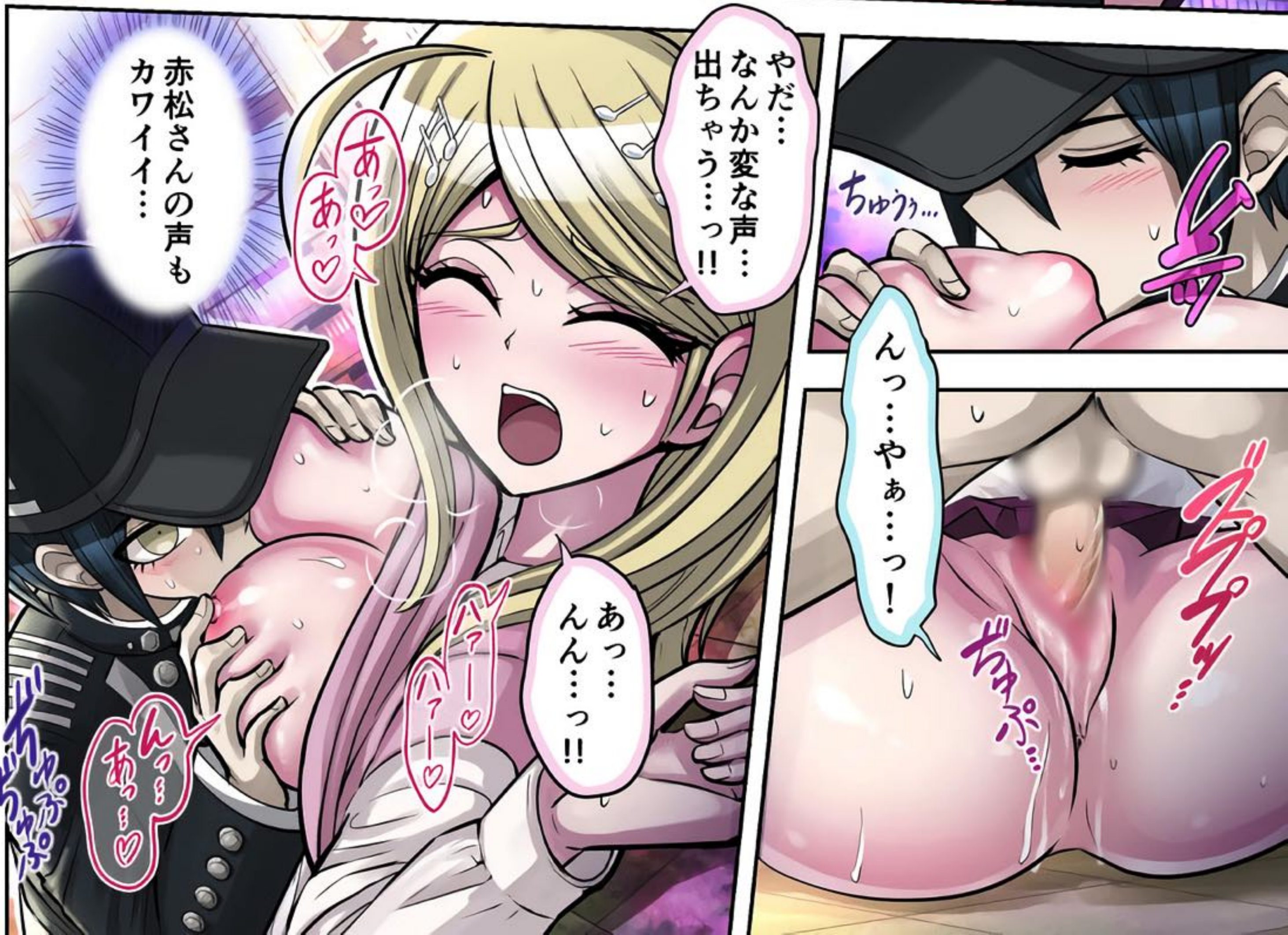


赤松さん... ここも感じる場所だよね...?

最原... くん...っ!

しんっ

んっ



やだ... なんか変な声... 出ちゃう...っ!!

赤松さんの声もカワイイ...

あっ... あっ...

んっ... っ!!

あーっ

んっ... あっ...



んっ... やあ...っ!

ちゅっ...



んっ... やあ...っ!

んっ... やあ...っ!



…え？
ほんとう？

ハァー
ハァー

キミの…
好きなリズムで
動いていいよ…

ねえ…
最原くんは
どんなリズムが
好き？



きゅん…

ズッ

じゃあ…
少しずつ
早くして
みよっか



やだ…
恥ずかしい…っ

はっ
はっ

ほら…
聞こえるでしょ？
僕と赤松さんの
繋がってる音…

ぐっぐっ

ぐっぐっ

めろめろ



んっ…っ！

あっ…

プッ

もっと
聴かせてよ…
赤松さんの音…!!

プッ

めろめろ



すごい…最原くんの…
奥まで入ってきいて…
気持ちいい…っ

はぁ…ああ…
ごめん赤松さん…
もうダメ…イキそ…!!

うん…イこう…
一緒にイこ…っ!



あ…あっああ…
赤松さん…好きだ!

私も…っ!



あっ…あああ…!!
イク!イクよ!?

ああ…っ!
最原くん…
最原くん…っ!!



ああ、じん...
好きだよ...♡

最原くん
最原くん...♡

けっこう...
時間
経っちゃったね...

そうだね

早く例のカメラを
仕掛けないと...





最原くんの
意外な一面も
見れたしね



でも…ほんとに
こんな流れでしちゃって
よかったの？

何言ってるの
全然いいって！

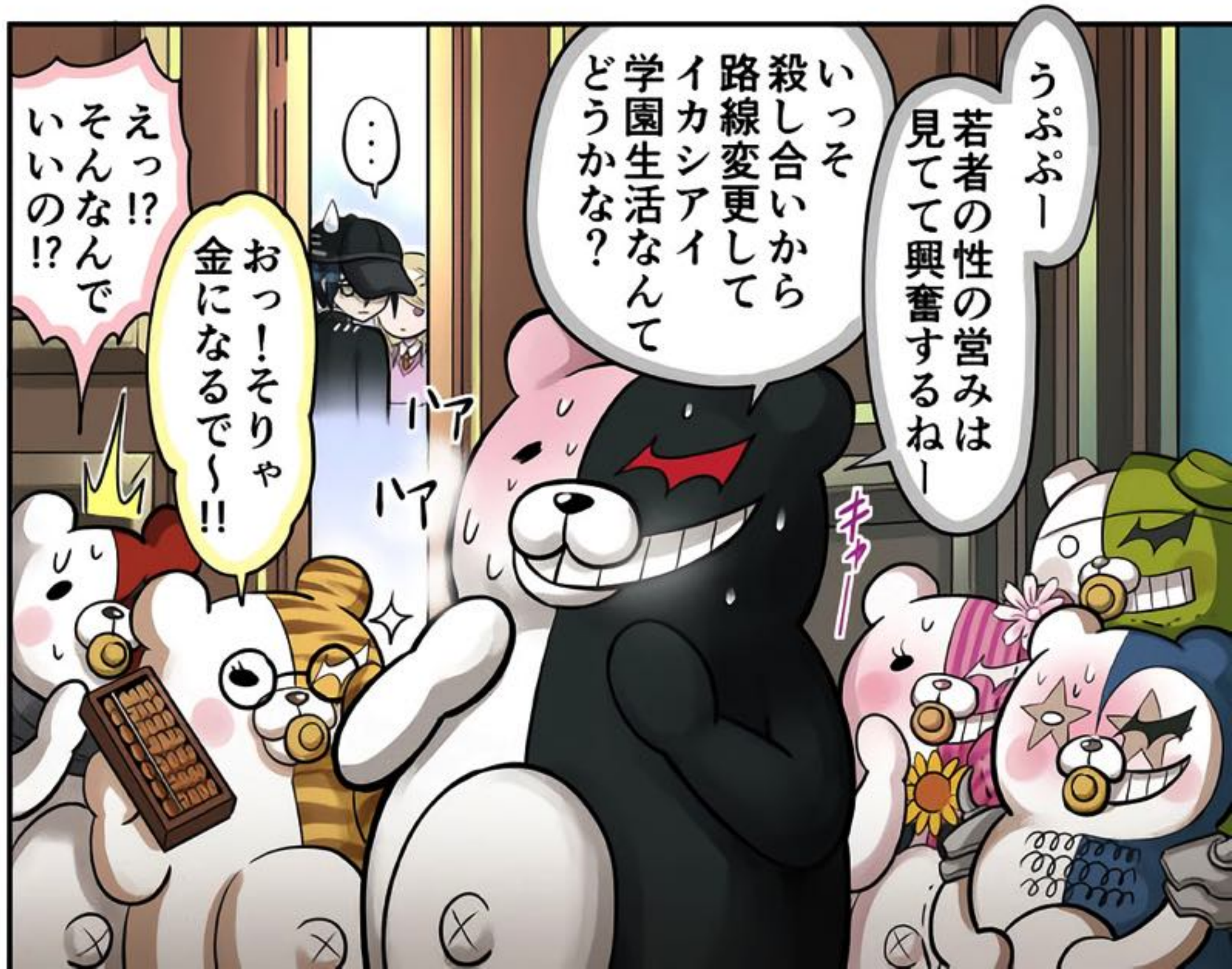


なんか視線を
感じるような…

…どうしたの？



赤松のパンツを
ゲットした！



うぷぷー

若者の性の営みは
見てて興奮するねー

いっそ
殺し合いから
路線変更して
イカシアイ
学園生活なんて
どうかな？

おっ！そりゃ
金になるでー！！

えっ!?
そんなんで
いいの!?



この漫画は、R-18作品です。

本作のキャラクターのイメージを
損ねる可能性のある表現があります。

また、～だんがん紅鮭団～
までのネタバレが含まれています。

上記の点に注意して、ご覧ください。

※当漫画は、個人が制作した非公式二次創作です。
だんがんロンパ公式各位とは、一切関係ありません。